

料金後納

ゆうメール

育脳寺子屋通信

〒616-8156 京都市右京区太秦西野町20

育脳寺子屋MAC

TEL 075-871-0374

FAX 075-882-3777

URL <http://www.mac-terakoya.com>

e-mail 4411@mtf.biglobe.ne.jp

teaching → learning

これからは「学ぶ教育」

今回は少しなが〜い文章になっていますが、お付き合いくださいネ!

研修会の後の懇親会で盛り上がった話の詳細・失敗談(*_*)です。

『先生、なんであの先生あんなにえらそうに言わはるの? 注意せなアカンやん』

と、生徒から注意されました。

このような話になったのには、伏線があります。

MACでは、各教科単元が終了すると、本当に理解できているかどうかを測るテストを実施しています。合格点は9割をクリアすること。合格基準に達しない場合は再テストとなります。

中一のアル生徒が、その日は合格点に達しなかったため、間違った問題を全て直し終えました。ところが、同じ単元テストを、またその日に受けたのです。

そこで、テスト用紙を持ってきた時に、「再テストは、翌日に受けるようにと言っていたやろ」と言って、その場で破棄しました。

「先生、それはひどいわ」

周りにいた生徒からブーイングが起こりました。

「何を言うてるのや、この行為は、〇〇のことを思った優しい行為なんやで! ようく考えてや、今直したところをすぐにやったら誰でも全問正解や、それで定期テストでいい結果出るの?」

ということで、みんな納得してくれました。

この時に、冗談で「あの先生より、よっぽど先生のほうが優しいんやで!」と言った時に、その場の雰囲気がいやすかったのか、前にいた生徒から返ってきたのが冒頭の言葉だったのです。

あの先生とは、昨年の夏頃からMACに勤務していた、難関国立大学の大学院出身者のことです。

彼の父親とは長年の知り合いで、この父親の弁によれば息子は関東で複数の予備校に長年勤めていたが、昨年の正月に実家に戻り、大阪に本部のある学習塾に勤めたとのこと。ところが、この学習塾、生徒が集まらず閉校になり急なことで困っていると。

そこでMACに白羽の矢が立ったのです。

父親曰く、少し社会性が不足しているかもしれないが、MACのお役に立つから是非お願いしたい、背水の陣で臨んでいると。

(ウーン、ここ最近、特に有名難関大学出身者のあまり良くない噂を耳にすることが多いのだけれど、また、多くの本も出ているし……まあ、長年の知り合いの子息でもあるし、滅多なことには……でも、ソファでふんぞり返っているのが少し気になる。態度がでかいな～)

「うちは、小・中学生中心なんだけど、対応出来る？ 今までは高校生相手やったと思うんだけど大丈夫？」

「大丈夫です、**出来ます**。家庭教師で小学生も教えていましたので」

「ソロバンも教えてもらうことになるよ」

「勉強します、大丈夫です」

「以前、京大生がチューターに応募してきたのだけれど、MACでは答えを教えるのではなく、ヒントを出して、生徒に考えさせ、気づかせる授業をしてもらわなければならない、と説明したら、そんな難しいことは出来ませんと言って辞退した人がいたのだけれど、うちでは教え込み厳禁だけど、出来る？」

「はい」

と、言うことで、最初は隔日勤務のアルバイト扱いで勤務することに……

ところが、スタッフから

「先生、うちの授業を見て、こんな面倒くさいこと出来ないな～って、言うたはりましたよ」

との声が入りました。

(生徒に、文字が汚いと書き直しをさせたり、ぬり絵なども丁寧に描くように、使った辞書は元の位置に戻すように、そして、教室に入ってくる時の挨拶など次々注意していることを言っているのでしょう。まあ、いずれその重要性が分かるやろと達観していましたが、それにしても、彼は自分の言った言葉が私の耳に入ることを考えていなかったのでしょうか?)

父親は、社会性が少し不足していると言っていたけれど、先行き不安(—;))

私には、そうではないのですが、他のスタッフに対しての**上から目線**も気になります。

「お茶おいとくね」

「フン！」

(おい、おい、フンはないやろ、社会性が不足していると言っていたけど、不足ではなく、全くない！ 何かしてもらったら、礼を言うのは当たり前なんだけど、前途多難(>_<))

その後、流れから正社員に。

何とか一人前にしなくては、でも不安がいっぱい(=_=)

毎回、小学部の授業を見学、なにやら熱心にノートに記入しています。

でも、邪魔！！ どうも周りに目が行かない様子。生徒達の動きが見えないようです。

とりあえず、中学部のみ入れることに。

でも、書く文字が汚い、何を書いてあるのか不明！ 小学生からもクレームが。

中学部では、やはり懸念したように、教えすぎ、それも生徒の顔を見ずに一方的に説明しています。また、その説明が長すぎる。しかも、後ろに生徒が並んでいるのにお構いなし。

「中学部の雰囲気どうや？」

「活気ないですね！」

「活気がないのと違うやろ、自分のやるべきことを自分で決めて取り組んでいるので、授業に集中しているから静かなんや」

「はあ～・・・？」

そして、正社員になり、3ヶ月が経過。

「この3ヶ月間の総括をしよう、ここに座ってくれるか。うちとしては、早く戦力になって欲しいので、かなり厳しいことを言うけれど、聞いて反省して欲しい。うちの理念は、いつも言っているように、**社会で活躍する人作り、即ち、自分で考え、決定し、行動する、そんな生徒を育てたいので、自立・自律学習**を謳っているのだけれど、分かっているな？」

「はい」

「まず、**出社時間、アルバイトの時は少々の時間遅れは目をつむっていたけど、何で遅れてくるの？**」

「ああ、それならもう少し早く来ます」

「生徒にも、**時間厳守**を言っているのに、いちいち言われなくても、自分で考えたら！」

「次に、**脱いだ履き物はそろえておくように！**」

「それから、**ドアの開け閉めを静かに！**外から入ってきたときに、こちらは仕事をしているのや、暑い、暑いとうちわであおぎすぎや、やかましい。うちわの竹の部分折れているやないか、自分ひとりで仕事をしているのではないことを頭に置いておくように」

「ところで、自分は何かをしてもらっても、礼一つ言わんな！ 何か不満でもあるのか？」

「いいえ」

「それなら、**感謝の言葉**を言うように！常識やないか」

「それと、誰にでも、同じ**挨拶**をするように！（相手によって、態度が違うのです）うちでは業者の人であっても、お茶やコーヒーを出したりしている。人によって態度を変えることのないように」

「今からは、本来の仕事についての注意！ 何回も言っているように説明が長い、生徒の目を見て話しているか？ 目や表情を見たら、理解しているのかいないのかが分かるやろ、それが全く出来ていない。出すのはヒント、もっと生徒に質問するように！ 極端に言えば自分の説明に、自分で陶醉しているやないか、**主役は生徒や、考え違いをするな！！**」

「余りに、書く文字が汚いので、今後は書写教室の方で、文字の練習をするように。以前に平仮

名、カタカナ練習帳を渡して、練習するように言っていたのに全く成果が見られへんよ」
「でも、習字の展覧会に入賞したことがあるのですよ」
「何を言うてんのや、あんな読めない文字を書いている、それでは小学生の指導は出来ないよ」

「あ～、もう一点あった、教室のクーラー、何で自分に合わせて切ったり、入れたりしているのや、生徒のためにクーラーを入れてあるのや、お前のために設置してあるのと違う、自分のことしか考えてないやないか」

「あ～、分かりました。ここが京都や言うことを忘れていました」
「どういう意味や？注意したことは、日本全国どこでも一緒や、しっかり守ってもらわんと困る」

「今後は、授業での自己評価をA, B, Cで日報に書くように！」
第一回総括が終わりました。(あ～～あ)

その後、取引のない教材会社の営業が見えたときに、何と、自分の出身大学の話から始まり、本来しなければならない仕事をほったらかして、相手のことを気遣うことなく1時間半話し込んでいました。

また、注意です。
「でも、業者の人も大切にしなければいけないと言ったじゃないですか？」
「あの人は、取引のない教材会社や、取引をしないのに、相手も次の予定があるのに、長い時間引き留めて何を考えているのや？ しかも、自分の話し込んでいた場所で授業を受ける生徒が来ていたのと違うのか？」

別の日には、事務所のスリッパを履いたまま、トイレに入っていきます。
「何で、トイレ用のスリッパがあるのや、そこに思いが至らんのか？」

注意！ 注意！！ こうなったら、とことんやるしかありません、分かるまで。出来るまで。でも、このままでは、「言うた」、「聞いてへん」になる可能性大、ということで、日報に書き込むようにしました。

最初、日報に書き込んだのは
説明をするのでなく、適確な質問で答えを導くように！ (本人の自己評価B：私の評価C)
次は

説明が長い。長い説明は生徒の耳に入っていないと心得るように
質問を多用 → 答えられないときは、教科書や参考書で調べさせるように。

※ 自分の説明で分かったかどうかの判断は、再度同じ所の説明をしている場合は、自分の説明が生徒のレベルと合っていないと判断し、言い方を変え工夫すること
(本人の自己評価B：私の評価C)

授業以外では、
「おい、この貸した本やけどな、何で書き込みしてあるのや？ それに、この新聞も。人の物も、自分のモノも区別つけられへんの？」
(困ったモノです、人の物は自分のモノ、自分のモノは自分のモノのようで、まるで幼児のよ

うです)

事務所の、パーティションに彼の上着が掛けてあります。仕方なく、ハンガーにかけ直しました。(彼からは、何のコメントもありません)

一時期M A C n e w sに旅行記を記載していましたが、年が変わって直ぐの、その原稿の提出日直前になって

「塾長、旅行記の原稿、今回はパスさせて下さい」

と、中学部授業終了後言い放ち、こちらの返事も聞かずに帰宅していきました。明るる日には、また叱らなければなりません。

「お前、遊び気分で仕事に取り組んでいるのか？ いつ原稿を出さなければならないのか最初から分かっているのと違うのか、そんな無責任はどこに行っても通用せーへんぞ」

(最初は、どのようなことを書くのか期待したが、期待外れの内容なので、こちら辺が切時。50ヵ国近く旅行したとのことで生徒への還元も期待したが、これでは、とても無理！)

「本日から、土曜日のみ小学部に入るように」

その日の日報には

教室の机の上に置いている切り絵、色鉛筆などの配置を覚えておくように！

(連日、教室に入り、小学部の授業を見ているのに、何をどこに配置しているのかを全く見ていないのです。前もってストーブに火を入れておくように言ったときも、ストーブってどこにありました？ って聞きましたので驚きましたが、また机の配置も間違え、出入りが出来ないようになっていました)

待遇は、まずは中学部の室長として。生徒の管理をしっかりしてもらわなければなりません。日報には、

・〇〇への指導は？ 英語だけさせていいの？

・単語の暗唱時には説明不要(どうも、長々と説明するのが好きなようです。入社するときの面談でも教えるのが好きだと言っていました)

・観察力不足：常に全体も見る。生徒の目、表情を見ながらヒントを出すこと。
(長年の癖で、何度言ってもできないようです)

入塾体験時の対応では、相変わらず一方的に話しています。

・小学生〇〇の指導に問題アリ！

〇〇の 育脳計算ワークの $\square \times 3 = 138$ $\square \div 4 = 37$ の問題、出来ないうまになっているが、既に3桁×1桁、4桁÷1桁の計算が出来ているのに、なぜ適切な指導が出来ていないのか？ 報告がないがどうして？

この際、大切なのは生徒自身に答えの出し方を『気付かせる』ことが肝要！！

(この件について本人から何の回答も無し・・・小学生の指導は無理かも(一一:))

ところで、彼には小学部の指導もするという条件で入社してもらいましたので、当然ソロバ

ン指導もしなければなりません。ところが、どう見てもソロバンの自主練習をしているようには見えません。

そこで、「もう1年近くになるのでソロバン練習も出来ているはずだから、今週から毎週ソロバンのテストをしていきます。まずは8級から・・・」

8級は1回で合格、7級も。6級は、かろうじて2回目で合格、しかしながら、5級は3週間にわたってテストしましたが受かりません。

「入社当初からソロバンのことは話していたはずや、練習していたんか？」

「はい、ずっと練習していました。その前にちょっとは話を聞いて欲しいのです」

「言い訳は聞かん！ 練習をしていたなら、5級ぐらい合格できるはずやないか、毎日練習していたら小学生でも高学年だったら3級に合格するのに、何しているんや」

「出来ません、僕は小学生のように脳が柔らかくないんです。無理です、出来ません」

「お前、考えてモノを言っているのか？ 大体、言わなくてもいいことまでペラペラしゃべるし、日頃のお前の行動見ていると、何も考えられていないやないか、中高一貫校で、言われた通りにしかしていなかったから、考えられないのか」

「そうです！！」

「はあ～（開いた口がふさがりません）そしたら、生徒が出来ませんって言ったらどのように指導するんや。よう考えてみー。プロ野球の選手が試合でエラーをした時に、でも毎日練習していましたからってそんな言い訳通用するのか？ 社会に出たら結果が全てや、甘えるな」

「絶対無理です、出来ません」

「ところで、小学部の授業を見ていた時に、何か熱心に書いていたな～、あれ何を書いていたんや」

「生徒の名前です」

「生徒の名前？ 生徒はいつも同じ席に座っているの？ うちの席は決まっていらないのに(T_T)（これでは無理）あ～、分かった、もう小学部はええわ！ 中学部だけにしとく！！」

ということで、小学部の担当を外しました。

その日の日報には、

家でもソロバン練習や問題作成に取り組んでおり、決してないがしろにしたわけではありません。その事実を伝えたかっただけです。と書かれていました。

（おそらく、毎週テストをすと言われ、練習をし出したのでしょう。自分がまず何をしなければいけないのかが分かっていないから、計画性ある取り組みが出来ていないのです）

中学部のみの担当ということで、新中1に今後の授業説明をさせました。

話が長くて、何を言っているのかこちらでも分かりません。おそらく自分でも何を言っているのか分かっていないのでしょう。こちらで簡潔に言い直し分かってもらうことが出来ました。

その日の日報には、珍しく反省の弁が・・・申し訳ありませんでした。以後大いに気を付けたいと思います、と。

そして、4月に入りました。

教材の準備を任せていたのですが、どの学年のどの教科がどこに置いてあるのか、探すのに

一苦勞(;_;))

そこで、お願いしました。教材の配置もっと分かりやすいように、例えばクリアファイルを使うとか、分かるようにして欲しいと、日報に書きました。

そう言えば、彼の机の上はグチャグチャ、整理整頓が全く出来ていません。「机の上、整理して欲しいんだけど、外から人が入って見えたときにかっこ悪いんで！」と、注意ではなくこの頃ではお願いです。

その次の日報で、冒頭の生徒の言葉の件を伝えました。

日報には、こちらも、生徒への言葉づかい以前から気にしていたのですが、確かに生徒の指摘通り言い方がきついですね。以後言葉遣いには、細心の注意をお願いします。

と、書きました。

次の日の日報には、「おそらく中学部の責任者ということになって、変な気負いが知らぬ間におごりになっていたのかもしれませんが。言葉づかい気をつけたいと思います」と。

そこで、その日報には、「室長の仕事は、いかにして個々の生徒の学習状況を把握するかにあり、適切に対処することが求められます。また、生徒への教科指導は、生徒の表情を読み取り、一方通行の説明にならないように留意してください」と書きました。

ところが、教科指導も満足にできていません(>_<)

数学指導について・・・答えだけを見て○×を付けるのではなく、分配法則を使ってという問いに対して正しく書けているのかも見てください。

そしてゴールデンウィークに、

事前に、早く進んでいる生徒には、復習問題を渡すように言っていたのですが、そうでない生徒にまでプリントを渡しています。しかも、各生徒の進度状況が把握できていません。休み明け早々に定期テストのある中学校もあります。急遽、休み明けに各教科の進み具合をチェックしました。

いやー、チェックして良かった、そこで、数名の生徒対象に土曜日特別授業！！ 休み前にチェックしておれば、やる必要のない授業です。

そして、日報で、「定期テスト1週間前の生徒もいますので、こちらで対処いたします。悪しからずご了承ください」と伝えました。

次の日報では、従来から注意していたことをまた書かなければなりませんでした(;_;) 説明を簡潔にと。

次の日報では、使用問題集の扱いについて

いまだに折ったページが見られるが、共有物であるので折ることを止めて欲しい。書き込みもいろいろ見られるが、私用のものではないので書き込まないように。

そして、とうとう生徒への指示で決定的な間違いを起こしました。

アル生徒が、まだ数学のテスト範囲が終わっていなかったのに連日教室に来ていましたが、ワークが終わりきらずに定期テストに突入してしまいました。ところが、何と、学校で数学のテストがあったその日にも、教室に来て数学をやるように指示を出していたのです。

当然優先すべきは、翌日に実施される教科のテスト勉強です。その生徒の保護者から電話が入り、判明しました。

もう彼に声をかけるすべもありません。

「おい、〇〇今日数学のテスト終わっているのに、今日も来て数学の続きするように言ったのか？ そんな電話がお母さんから入ったぞ！ 定期テスト、今日、何の教科があるのかの把握も出来ていないのか？ 何のための中学部の室長や？ 保護者からこんな電話入ったのは初めてや、恥ずかしい話やね！！」

「・・・・・・・・」

「来週の授業から、こちら二人が前の席に座るから、自分は後ろの席に座るように、そして、こちらがどのようなことをしているのか、もう一度しっかり観察してくれ」

この週末に、退職願を出してきました。

イヤー、全く成長しなかったですね。

仕事が出来なかった～。

勉強は出来たかもしれないけれど、考える力なし、判断力ゼロ。

でも、本人は国立の大学院まで出ているのだから、自分は出来る人と思っている。

親も子も勘違いの世界に生きてきたんですね。難関有名大学、大学院を出たことによって！！

これは、彼だけの責任ではなく親の責任です。おそらく勉強さえしていれば、と躰をはじめ家の手伝いなんてとんでもないということで、上げ膳据え膳だったのでしょう。

今、このように最高の高等教育機関を卒業しながら、すばらしい卒業証書と研ぎ澄まされた受験テクニックの他には、世の中で道を切り開いていけるだけのモノを何も持っていない若者が増殖しているのです。

生徒たちに、彼が辞めたことを伝えました。

「あ～、そう」という感じで、なぜかホッとした顔をしています。

私は気が付きませんでしたでしたが、爪を長く伸ばしていたのです。そのことを生徒が指摘して、気持ち悪かったと。生徒には謝りました。彼の指までチェックしてなかったと。

でも、二人の生徒が彼にだけワークを見てもらっていました。なぜ？ 私は嫌がられているのでしょうか？ そうではなかったのです。授業の進度を記載しているカードを見ると、全く宿題

をしていませんでした。室長であるにもかかわらず、あれだけ個々の生徒を見るようにと言っていたのに、全くチェックしていなかったのが、注意をすることがなかったからなのです。

何のための室長か？ 啞然としました！！

その後、他のスタッフに聞きました。どのように思っていた？ と。

息子の場合は、彼が来た初めての日に「こんにちは」とあいさつしたら、足を組んだまま「おっ！」と言われたそうです。この人は、ダメだと思ったそうですが、そのときは、私には何も言いませんでした。

全く、判断力、思考力、社会性、他者への気配りが欠如、自己中心以外の何物でもありません。

このような事例は、よく耳にすることはあっても対岸の火事だと思っていました。そのような本も多く出ていますので読みましたが、ここまでひどいモノだとは思いませんでした。

別のスタッフは、彼女の場合は子供さんがM A Cに来ているので、挨拶をしようとしたのですが聞く耳持たずのような雰囲気では挨拶できなかったそうです。

私が1日だけ、授業を空けた時がありました。その時、彼に小学部を任せたのですが、他のスタッフがソロバン指導はまだ無理だろうと、

「私に回してくださいね」

と言ったにもかかわらず、

「大丈夫、大丈夫」と言って生徒の指導をしたそうです。

案の定、その生徒が分からず、彼女のところでもう一度指導を受けたそうです。

本当に生徒のことを考えるなら、あやふやな状態で指導することを避けるはずなのですが、そのような視点が欠けています。

彼の辞めた後、整理していますと、何とおびただしい枚数の単元テストが出てきました。何で、こんなに多くの枚数をコピーしたのでしょうか。全く、考えて仕事をする事が出来ていません。

中学生には、「させられる勉強」をしていると、彼のように自分で考えることのできない人になってしまう。自分で予定を立て、定期テストにどのように向かえばよい結果につながるかを考え、日々の勉強に取り組むように、自立・自律学習の大切さを改めて訴えました。そして、勉強だけが出来ればいいのではないと。

彼の父親からは、「昨夜、息子から退職の件聞きました。色々経緯があったようですが、1年間お世話掛けました。有難うございました。」 と、メールが来ました。これだけです。

どのような話になっているのか知りませんが、文面からは何か不満が感じられるのですが・・・

徒労感だけが残ります。

何とかしようと、色々な本も読ませました。何とかなるのではないかと考えていたからです。

- ・なぜ、あの人はいつも助けてもらえるのか
- ・東大卒でも赤字社員、中卒でも黒字社員
- ・学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶応大学に現役合格した話
- ・教える力 など

全て、ムダでした。

彼にかけた時間はムダ？（うるさいだけとしか思っていなかったのではないのでしょうか？）
なかなか利益の確保が出来ない時代なのに経費もムダに。

指導料を払ってくれ～(@_@)

『おれおれ詐欺』ではなく、『出来る出来る詐欺』にかかったような気分です(=_=)

最後に、

いつも、どこの大学を出たのかと、仕事の出来る・出来ないは関係ない と言っていた私が、
阪大基礎工学部卒、同大学院卒という名前に翻弄されたのは間違いのないことです。

いつまでも現役を続けられない、誰か代わりになる人をというスキに見事に入り込まれ、彼の
父親の以前からの売り込み文句にも惑わされ、見事に術中にはまったとしか言いようがありません。

改めて、人の評価は学校歴でないことを確認しました。

彼は、人間性は、悪くなかったと信じていますが、いかんせん躰を初めとして、人との交わり
の中で、何が一番大切なのかを勉強してこなかったのです。

子ども達と、論語を読んでいます、その中にある

子曰く「それ恕か」の恕を、彼は持ち合わせていなかったのです。

周りの人に対してだけでなく、生徒に対する「思いやり」、思いやりがあれば、本当に生徒の
ことを思っていれば、あのような間違った指示を出すこともないでしょうし、えらそうに言うこ
ともなかったでしょう。

彼は、「教えるのが好きなんです」と言っていました、これは視点が生徒ではなく、自分に
置かれているのです。

学習塾の主役は『生徒』、先生ではないのです。

今回の一連の出来事を振り返りますと、学習教科だけの勉強では、世の中通用しないのに、今
の学校教育では、成績が全て！ 人間教育がなされていないのではないかと考えざるを得ません。

何にしましても、今回は、今までの育脳寺子屋の取り組みが、今後益々必要とされていること
を再確認させるための、神様の配慮では(^_^;) と思っています。

育脳トリアル誕生秘話

「困ったなあ～ このままの状態では、この子は高校入試でアウト！」

小学4年生より通塾しているM君、何をさせてもスロー。
しかも、知り合いの私立H高校の先生の甥っ子。
今更辞めてくれとも言えないし・・・

1学年に一人は手のかかる子がいるのですが、この学年にはもう一人超スローのYちゃんもいます。

今から15年以上前の話です。

M君曰く、僕は心臓が他の人と違い、反対側に付いているので・・・と言いつけているのですが・・・私の頭を悩ませる日々が続きました。

そんなとき、幼児教育のセミナーの案内が送られてきました。
そこで出会ったのが点描写！！

講師の先生に「中学生でも効果ありますか？」と尋ねた所、OKとのこと。
早速、プリントを購入し、まず中学生にやらせてみました。なんで、こんなことするの？ という文句を覚悟で。

ところが、成績の良い子も悪い子も、誰ひとり文句も言わず黙々と机に向かっています。凄い集中力です。驚きです。

そして、間違わずに書き終わった後の満足した顔、顔、顔。

私の想定していたことは、見事に覆されました。
これは、本格的に継続してやれば、もっと効果が・・・

試しに、小学生にもさせてみました。どの子も凄い集中力です。一言もしゃべりません。
20分間、一言もしゃべらずに、黙々と机に向かっている子もいます。

中学生には、他の空間認知力を試すプリントも1週間にわたり何枚かさせてみました。
すると、教室に入ってくるなり「今日はどんなプリント？」と多くの生徒が聞いてきます。

楽しみにしているのです。学習教科では考えられないことです。

その当時の点描写は平面的なモノばかりでしたが、現在は改訂に改訂を重ね、学年が上がるにつれて、立体的なモノや都道府県、世界の国々も描けるようになっているのは、ご存じですね。

その結果、生徒の空間認知力がアップしたことにより、図形の問題が苦手でなくなりました。

点描写以外のページは、高学年については国語力が著しく低下してきていることを踏まえ、言語的要素を多く取り入れました。また、算数については文章題が弱いことから、図形を取り入れた文章題の導入問題も取り入れています。社会や理科的要素の入った問題もあります。

即ち、学習教科の基礎基本を、教科書とは切り込みを変え、子ども達の好奇心を刺激するように出題しているのです。

何をさせてもスローだったM君、見事に高校に合格しました。

今では、M君に感謝、感謝です。

その当時より、スローな子が増えているからです。

でも、低学年より3分以内に1ページやり終える『育脳トライアル』に取り組むことにより、中学生時には超スローだった子も、何とか中学の授業についていくことが出来ています。

ご存じのように、育脳トライアルは、現在年中から中3まで揃えていますが、当初は中学生バージョンから出発したのは、このような経緯があったからなのです。

ところで、

先日も、大学への進学実績を上げている京都S高校の校長が見え、「現場からは、『切れの無い子が多いので指導に困っている』との声が上がっており、その対処に苦慮している」と、話されていました。

そこで、『育脳トライアル』をお見せし、小さい頃より、このような教材で脳のキャパシティを広げ、「出来た」、「分かった」を数多く体験させ、自己肯定感を育み、モチベーションを上げることの大切さを話しました。

私の話を聴きながら、育脳トライアルのDシリーズの1冊を取り上げ、

「このページとこのページの問題を生徒にさせたい、やはり基礎からしっかり取り組ませることが重要ですね。先生のところでは、こんなことをされていたのですね。今日は、成果がありました！ これからすぐに学校に帰ります」

と言って持ち帰られました。

以前も、複数の京都の私立高校で『育脳トライアル』を採用されたことがあったのですが、どちらかと言えば、指導困難な生徒を多く抱えている学校で、1校はDバージョンの25に入った途端にあえなく撃沈・・・問題が難しすぎたのです。

もう1校は、喜んで取り組んで頂いていたのですが、トップが代わり、中止に。

今度は、難関大学への進学でも実績を上げている高校ですが、どうされるのでしょうか？